

Záróvizsga (2010-06-14)

I. Mutatkozzatok be japán nyelven egy képzeletbeli japán személynek: (használva az udvariassági – けいご - kifejezéseket). (10 pont)

II. Olvassátok el a lenti szöveget és jelöljétek Igaz (I) és Hamis (H) betűkkel a szöveg alatti 5 állítást. (30 pont)

わたしは トモです。 サントスさんの うちに います。 わたしは
毎朝 奥さんと 散歩に 行きます。 8時ごろ テレサちゃんと 学校へ
行きます。 それから、うちへ 帰ります。 そして、奥さんと 買い物に
行きます。 午後 学校へ テレサちゃんを 迎えに 行きます。

それから、いっしょに 公園へ 遊びに 行きます。

週末は テレサちゃんの 学校と サントスさんの 会社は 休みです。

サントスさんの 家族は 遠い 所へ 車で 遊びに 行きます。

わたしも いっしょに 行きます。 とても 疲れます。

サントスさんの うちに 猫も います。 猫は 毎日

何も しません。 どこも 行きません。 わたしは

朝から 晩まで 忙しいです。 休みが 全然

ありません。 わたしは 猫と いっしょに

休みたいです。



- 1) () わたしは 奥さんと 散歩や 買い物に 行きます。
- 2) () テレサちゃんは わたしと いっしょに 学校から 帰ります。
- 3) () サントスさんの 家族は 週末 公園へ 遊びに 行きます。
- 4) () 猫は わたしより 暇です。
- 5) () 犬の 生活は 猫の 生活より 休みが 多いです。

III. Alkossatok rövid párbeszédet vagy csak mondatokat a következő nyelvtani szerkezetek segítségével: (20 pont)

- Ige + たいです。 Pl. わたしは日本へいきたいです。
Ige + て formája + ください。 Pl. たってください。
Ige + ても いいです。 Pl. ここでたばこをすってもいいですか。
Ige + てはいけません。 Pl. こどもは、おさをのんではいけません。
Ige + なければなりません。 Pl. 10キロやせなければなりません。
Ige + なくても いいです。 Pl. かんじでかかなくてもいいです。
Ige + ことができる。 Pl. インターネットをすることができます。
Ige + たことがあります。 Pl. 日本へいったことがありますか。

IV. Az igék udvarias jelen és múlt idejét figyelembe véve keretezzétek be a példamondathoz hasonlóan a megfelelő idejű igéket. (20 pont)

- 例： 毎日 9時から 5時まで (働きます、働きました)。
- 1) きのう 10時に (寝ます、寝ました)。
 - 2) 毎日 昼 12時から 1時まで (休みます、休みました)。
 - 3) おとこの 晩 9時から 11時まで (勉強します、勉強しました)。
 - 4) 毎朝 何時に (起きます、起きました) か。
 - 5) あさっては 日曜日です。 (働きません、働きませんでした)。

V. Az eddig tanult szavak és nyelvtan segítségével írjatok egy rövid párbeszédet a következő szituációk közül választva: - vásárlás, meghívni valakit valahová.

(20 pont)

